

県内個体群の遺伝学的な情報について

1. 県内の遺伝的多様性について

滋賀県に生息するサルの群れについて、遺伝学的な研究によれば、中部地方から京都以西へ分布が連続する個体群の系統（A1）と、紀伊半島に分布する個体群の系統（A2）に分かれる（図1）。

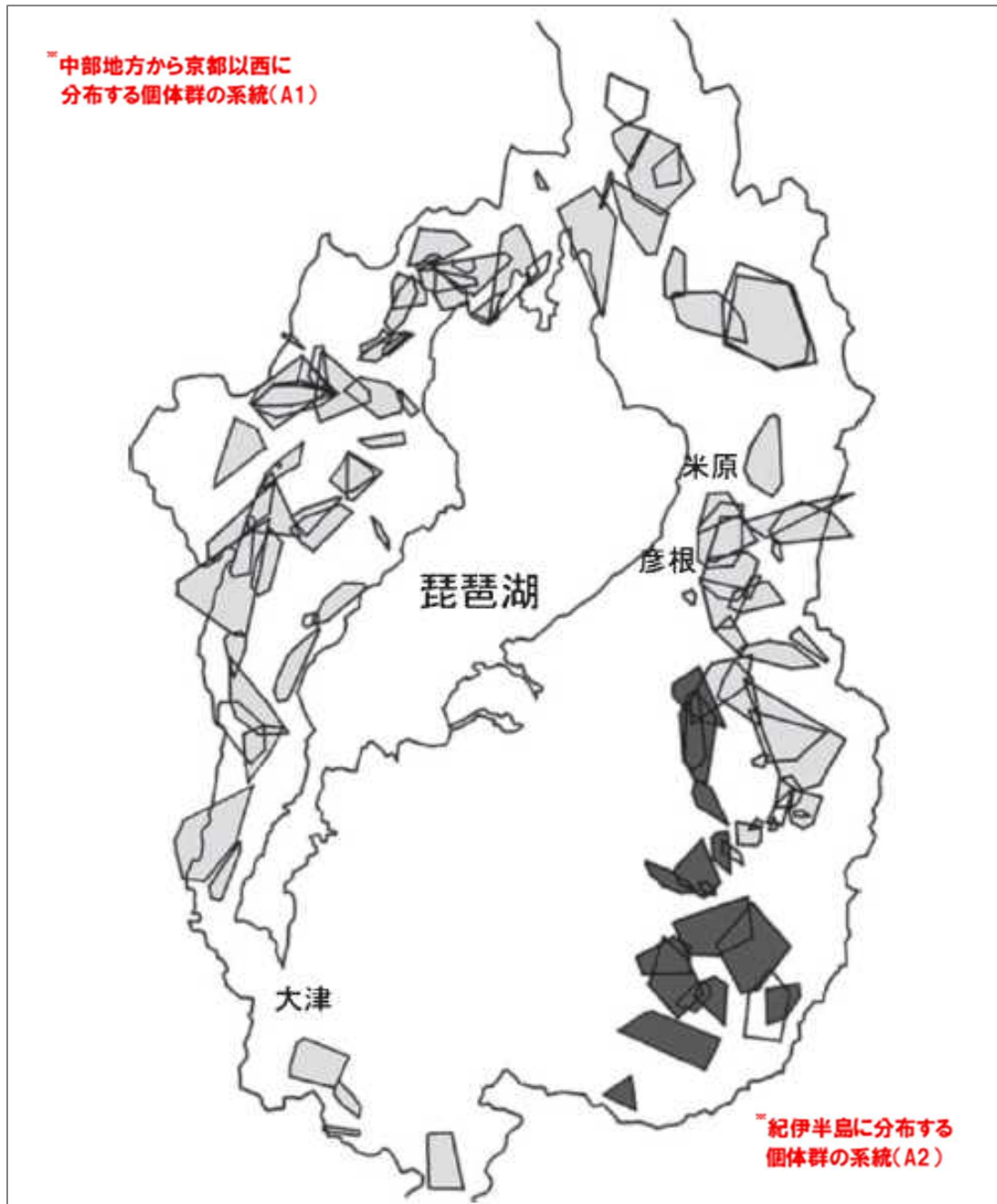


図1 滋賀県で確認されたmtDNAタイプの分布図（川本，2008）

2. 国内の遺伝的多様性について

国内に生息するサルの群れについては過去の研究により、東日本タイプ、西日本タイプに大きく分けられる。滋賀県の群れについては、中部地方から京都以西へ分布が連続する個体群の系統（A1）と、紀伊半島に分布する個体群の系統（A2）が分布している。



図2 サルにみられるmtDNA変異タイプの主要グループの地理的分布（川本、2007）